

次世代リーダー育成 グローバルゼミ

開催概要

▶対象：既に一定の業務知識・経験があり、
今後グローバル事業を推進する
可能性のある中堅社員（メイン層：30～45歳）

- ・将来的に海外赴任可能性のある方
- ・リモートマネジメント含む海外出張などで現地スタッフと対応する方
- ・すでに海外赴任中の方（特に少人数の拠点の方）

▶事前課題や課題図書への提示

▶講師による個人面談と育成カルテ

受講者ごとに個別面談を行い、人材育成カルテを作成・学習内容と受講者の課題を可視化し、上司・人事とも共有するツールとして提供し学んだ内容の職場での実践につなげます。ゼミの最終日には自社と自らの課題と今後の実践について発表を行います。

▶ゼミを超えた広がり

特にマネジメント能力強化のため、ゼミに加え知識付与としてEラーニング、テクニック・事例共有としての公開講座にも参加します。



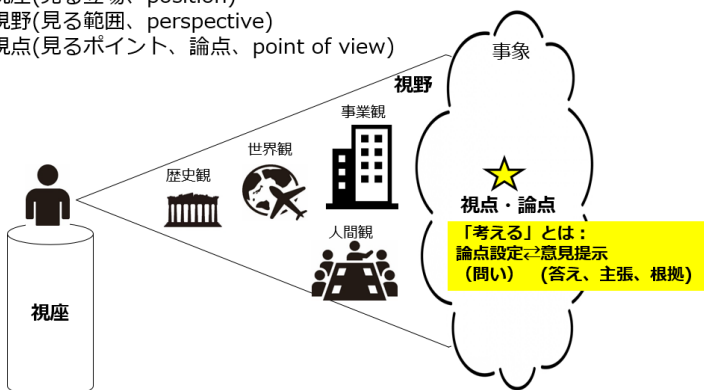
氏名	所属	担当	備考
田中 太郎	営業部	リーダー	
佐藤 花子	開発部	メンバー	
鈴木 一郎	経理部	メンバー	
高橋 美咲	総務部	メンバー	

人事部門によるグローバルゼミに対する期待

- 1位 **視野拡大**
- 2位 **視座を上げ**、課題（アジェンダ）設定ができるようになる
- 3位 **マネジメント理論・スキル**が身に付く

その他 ・リベラルアーツ（課題図書、ケーススタディ）
・自身の課題を可視化（人材カルテを作成）
・講師による個人面談 等

- ・視座(見る立場、position)
- ・視野(見る範囲、perspective)
- ・視点(見るポイント、論点、point of view)

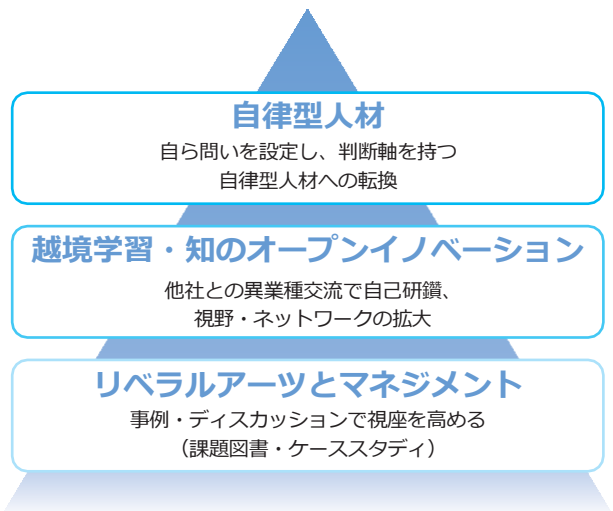


目的・コンセプト

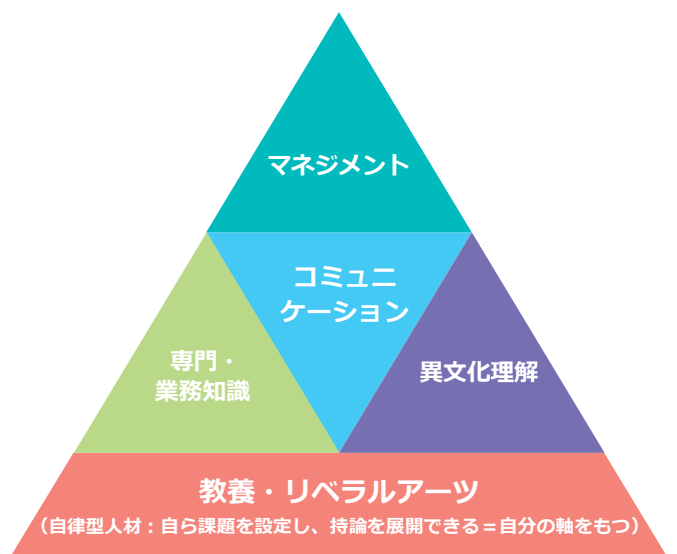
■グローバルゼミの進め方：受講者は他社の参加者と切磋琢磨しながら、グローバル事業を推進していく人材に求められる能力の土台を、オンライン環境下で双方向型で学びます。全般を通じ、受講者自らが問いを設定し、ディスカッションとアクションラーニングにより実践していきます。

実践型「グローバルゼミ」が目指すもの

グローバル事業を推進していく人材育成



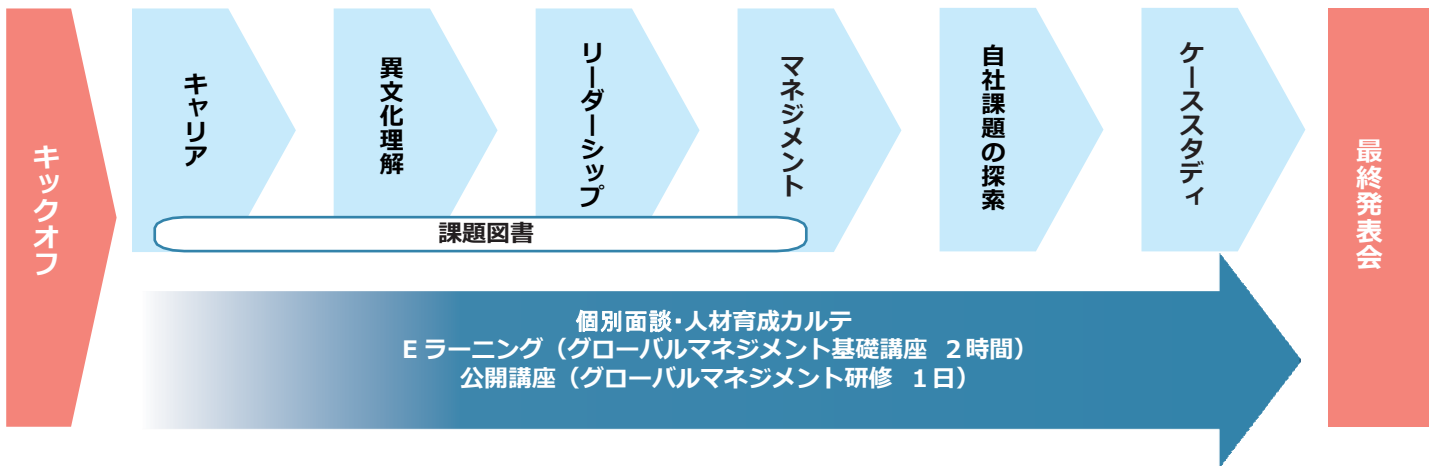
グローバル事業を推進していく人材に求められる能力とは？



研修名	グローバルゼミ	マネジメントスキル	・知識付与として2時間のEラーニング（グローバルマネジメント基礎講座） ・テクニク・事例共有として隔月開催の公開講座（グローバルマネジメント研修）
目的	自社のグローバル事業を推進していく人材として以下3点を強化。 ①ディスカッションで視座を高める（課題図書・ケーススタディ） ②他社との異業種交流で視野・ネットワークを拡大 ③自ら問いを設定し、軸を持つ自律型人材への転換	課題図書	・事前に提示した課題図書につき、レポート作成の上受講・ディスカッション。
対象	既に一定の業務知識・経験があり、今後グローバル事業を推進する可能性のある中堅社員（メイン層：30～45歳） ・将来的に海外赴任可能性のある方 ・海外出張などで現地スタッフと対応する方々（リモートマネジメント含む） ・すでに海外赴任中の方（特に少人数の拠点の方）	人材育成カルテ	・学習内容と自身の課題を可視化し、上司・人事とも共有するツールとして人材育成カルテを用意します。 ・期間中のみならず、受講後の実践に繋がります。 ・希望者には講師との個別面談も行います。
標準人数	1回12名	進行	・オンライン（Zoom）にて実施。講義、個人ワーク、グループ討議、クラス共有、解説。 ・「チャット機能」「ブレイクアウトルーム（グループワーク）」「投票」といった機能・手法を用い、相互交流型でインタラクティブに進行。

プログラム概要

回	内容	備考	個別面談	マネジメント
第1回	キックオフ	自己紹介・課題設定。事前準備の上参加	希望者に随時実施	①②公開講座・隔月開催 オンライン研修
第2回	キャリア	課題図書を事前に読み、レポート作成の上参加		
第3回	異文化理解	課題図書を事前に読み、レポート作成の上参加		
第4回	リーダーシップ	課題図書を事前に読み、レポート作成の上参加		
第5回	マネジメント	課題図書を事前に読み、レポート作成の上参加		
第6回	自社課題の探索	社内・外でインタビュー実施		
第7回	ケーススタディ	受講生所属企業の事例共有・討議		
第8回	最終プレゼンテーション	自社と自らへの課題と今後の実践について発表		



受講者の声

- ・ゼミ内で立場の異なる方々の意見を聞くことで、自分とは違う考え方や見方の発見できた。物事を様々な角度から見る力を養う良い手法だと思った。
- ・1つの事象を違う視点から見る事で新たな「気づき」が得られ、その気づきを「認知」しておくことで人間関係、あるいはビジネスにおいて進展が得られると思った。
- ・様々な経験を積み、色々な視点から物事を見る力を向上させることの重要性を感じた。
- ・ゼミ参加を通じ、自分の能力・知識を上手く活用すれば、今までの仕事の進め方とはまた違った形で物事を進められるのでは、と感じた。
- ・コロナ禍をどう乗り越えるか考えるのも大事だが、数年後、どのような変革が起きてその結果どうなったかを見直すことが非常に大切だと考える。
- ・現状の業務では自分の知識がそれなりに通用しているものの、これからの会社の発展と市場の動向を見ると明らかに知識不足・力不足である。長期的な視野で、5年後10年後本当に必要な知識・力を持った人材にならないといけない。

グローバル人材戦略研究所

会社概要

所在地 東京都港区南青山1-15-39 ワイズハウス南青山
 主な事業 日本企業のグローバル展開に関わる組織・人材マネジメント上の支援
 URL <http://ja-sol.jp>

お問合せ先

サービスサポート担当

TEL : 03-6447-1415

Email : sales@ja-sol.jp